

付録 I : ステップ 1 におけるコミュニケーション活動の実施状況

付 1-1 実施内容について

- ・県民を対象に、検討プロセスや検討体制の概要をとりまとめた鉄軌道ニュースを全戸配布するとともに、パネルを用いたオープンハウスを県内36カ所で行った。
- ・さらに、市町村を対象とした行政説明会を県内5カ所で行ったとともに、専用のHPにより、「沖縄鉄軌道・計画案策定プロセス検討委員会」の検討資料やパネル展示等に関する情報を提供した。

手法	実施内容
ニュースレターの配布	<ul style="list-style-type: none"> ・「鉄軌道ニュース」の全戸配布：56万9千世帯 ・沖縄県全世帯に市町村広報誌への折込又はポスティングサービスにより配布
オープンハウス（パネル展示）	<ul style="list-style-type: none"> ・36カ所、延べ280日（市町村役場26カ所、商業施設6カ所、離島空港等3カ所、県庁） ・県民が気軽に訪れることのできる場所で一定期間パネルを用いて情報提供及び意見収集を実施。
行政説明会	<ul style="list-style-type: none"> ・5カ所（本島北部・中部・南部、宮古、石垣）
個別説明会	<ul style="list-style-type: none"> ・要望を受けて沖縄商工会議所にて説明会を開催
HPへの情報掲載	<ul style="list-style-type: none"> ・専用HPを開設し、沖縄鉄軌道・計画案策定プロセス検討委員会やパネル展示等に関する情報を提供。

付 1-2 ニュースレターの配布

【ニュースレター】



付1-3 オープンハウス(パネル展示)、行政説明会、個別説明会の開催について

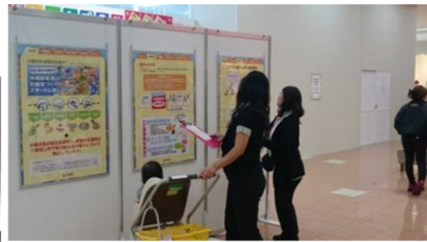
手法	実施力所
オープンハウス (パネル展示)	<ul style="list-style-type: none"> ○市町村役場 <ul style="list-style-type: none"> ①本部町役場 (11/4~11/7) ②名護市役所 (同上) ③与那原町役場 (同上) ④那覇市役所 (同上) ⑤南城市役所大里庁舎 (同上) ⑥豊見城市役所 (同上) ⑦糸満市役所 (同上) ⑧沖縄市役所 (11/10~11/13) ⑨国頭村役場 (11/10~11/14) ⑩大宜味村役場 (同上) ⑪金武町役場 (同上) ⑫嘉手納町役場 (同上) ⑬東村役場 (11/17~11/21) ⑭宜野座村役場 (11/17~11/21) ⑮うるま市役所 (同上) ⑯北中城村役場 (同上) ⑰中城村役場 (同上) ⑱宜野湾市役所 (同上) ⑲八重瀬町役場 (同上) ⑳北谷町役場 (11/18~11/20) ㉑今帰仁村役場 (11/18~11/21) ㉒恩納村役場 (11/25~11/28) ㉓読谷村役場 (同上) ㉔西原町役場 (同上) ㉕南風原町役場 (同上) ㉖浦添市役所 (同上) ○商業施設 <ul style="list-style-type: none"> ①イオン名護 (11/7~11/11) ②イオン北谷店 (同上) ③イオン那覇店 (11/8~11/12) ④イオン具志川店 (11/15~11/19) ⑤「道の駅」許田 (同上) ⑥サンエー経塚シティ (同上) ○空港等 (パネル展示のみ) <ul style="list-style-type: none"> ①久米島空港ロビー (11/11~11/17) ②宮古島空港ロビー (11/13~11/20) ③沖縄県庁ロビー (11/13~11/14) ④石垣港離島ターミナルロビー (11/26~11/30)
行政説明会	<ul style="list-style-type: none"> ①石垣合同庁舎 (11月18日) ②県庁 (11月19日) ③中部合同庁舎 (11月20日) ④北部合同庁舎 (11月20日) ⑤宮古説明会 (11月21日)
個別説明会	沖縄商工会議所 (11月7日)

延べ 280日

【オープンハウス(パネル展示)】



市役所(沖縄市役所)



商業施設(サンエー経塚シティ)



離島(久米島空港)

【行政説明会】



【ホームページ】



付2 寄せられた意見の概要

2,413人の方々から寄せられた意見をカテゴリー別に分類した結果、意見数は3,485件で、意見の多くは、地域の活性化や移動利便性の向上、事業期間や導入システム及びルートなど計画に関する内容や要望等となっており、検討の進め方等に関する意見は、全体の1割未満と比較的少なかった。

《STEP1に関する意見》

① 検討の進め方・体制・コミュニケーション等に関するご意見 (328件 9.4%)

《STEP2移行の検討に関する意見》

② 地域の活性化に関する意見 (210件 6.0%)
③ 移動の利便性に関する意見 (972件 27.9%)
④ 事業期間に関する意見 (271件 7.8%)
⑤ 導入するシステムに関する意見 (265件 7.6%)
⑥ ルートに関する意見 (255件 7.3%)
⑦ 地域の活性化に関する意見 (210件 6.0%)
⑧ 起終点に関する意見 (182件 5.2%)
⑨ その他 (792件 22.7%)

付3-1 寄せられた意見の概要及び意見への対応

大分類	中分類	小分類	意見数	意見の概要	意見への対応
1 基本方針と検討の進め方 (ステップ1) (328)	101 基本方針 (93)	10101 検討開始のねらい	(41)	<ul style="list-style-type: none"> ■先ず、鉄軌道の計画について検討する必要性、目的を県と県民が共有することが重要だ。 ■なぜこれまで検討が進められなかったのか理由がわからない。 ■鉄軌道は、他の施策より優先度が低いのではないか。他の施策を優先してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各段階において、県民の皆様と確認を行いながら、検討を行っていくことが合意形成を図る上で重要と考えており、整備ありきではなく、必要性から各ステップに基づき県民の皆様と情報共有を図りながら検討を進めてまいります。
		10102 進め方に関する基本姿勢	(29)	<ul style="list-style-type: none"> ■検討プロセス全体を通じて、透明性、合理性、客観性、公正性の確保に努めてほしい。 ■プロジェクトは、知事選挙（2014年11月）などの政治的な問題や、企業の利権とは切り離して、県民の声を聴きながら進めてほしい。 ■計画検討の進捗状況が分かりやすい進め方、透明性のある進め方をしてほしい。 ■鉄軌道の「導入ありき」ではなく、そもそもの必要性からオープンに検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画検討は、検討プロセスに基づき、プロセス運営委員会の監視、助言の下適切に行ってまいります。 ・各段階において、県民の皆様と確認を行いながら、検討を行っていくことが合意形成を図る上で重要と考えており、整備ありきではなく、必要性から各ステップに基づき県民の皆様と情報共有を図りながら検討を進めてまいります。 ・計画案策定にあたっては、整備ありきではなく、対策の必要性から検討を行っていくこととしており、その方針を明確化するため、「県計画案を策定するねらい」について、一部表現を修正しました。 →修正 資料1-2（1頁3段落目）
		10103 検討の対象と策定事項	(0)	なし	
		10104 検討のスケジュール	(23)	<ul style="list-style-type: none"> ■検討ステップを簡略化するなどし、スピード感を持って検討を進めてほしい。 ■子や孫の世代のためにも、この機を逃さずに実現化に向けて動いてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県民と段階的に検討・確認を行うことが早期の合意形成に繋がるものと考えております。 ・また、各ステップの検討にあたっては、スピード感を持って進めてまいります。
		10100 その他	(0)	なし	
		102 検討の進め方 (41)	10201 段階的な検討	(8)	<ul style="list-style-type: none"> ■5つのステップを踏まえることで後戻りのないようにすることは、よい進め方だと思う。 ■鉄軌道計画の目的を最初の段階で十分に検討することが重要だと思う。 ■まずは、意思決定までのプロセスを十分に考えることが大切だ。
	10202 県民参画	(10)	<ul style="list-style-type: none"> ■5つの検討ステップに沿って、早い段階から県民参加を取り入れることは評価できる。 ■県民から相反する意見が出てきてしまうので、内容が決定してから情報提供すれば充分なのではないか？ ■インターネット等を活用して、オープンな県民参画型の検討を進めてほしい。 		
	10203 課題や将来像、評価項目・評価方法の検討	(10)	<ul style="list-style-type: none"> ■まず、県民の幸福度の向上など、目的を明確にすることが重要だと思う。その後の検討において、目的に合っているかどうかを判断する基準になる。 ■メリットは大きいが課題・問題点もあると思う。 ■鉄軌道の必要性や実現性を県民のニーズ把握等を通じて、客観的に検討してほしい。 ■合理的な整備案を検討するためには、まずは地域の将来像を検討することから始めるべきだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画検討にあたっては、既存の文献や調査データ等客観的データを活用し、定量的、定性的分析等を行いながら検討を行ってまいります。 ・STEP3では、対策案について、既存交通の活用や先進事例等も考慮の上、幅広い視点で検討を行ってまいります。 	
	10204 複数案の検討	(4)	<ul style="list-style-type: none"> ■多様な交通機関が稼働している先進事例を参照しながら検討を進めてほしい。 ■既存の計画にとらわれず、あらゆる可能性を視野に入れて、整備案を幅広く検討してほしい。 ■大学などの教育機関と連携して幅広い案を検討してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・また、各対策案のメリット、デメリットを十分に比較できるよう、STEP2では社会面や経済面、環境面等様々な観点から比較評価項目について検討を行ってまいります。 	
	10205 比較評価や計画決定の仕方	(7)	<ul style="list-style-type: none"> ■既存の交通手段との比較も含め、整備によるメリット、デメリットを十分に検討してほしい。 ■多くの県民が賛同するルート案に決めてほしい。 		
	10200 その他	(2)	なし		

大分類	中分類	小分類	意見数	意見の概要	意見への対応				
	103 コミュニケーション (170)	10301 認知の向上や関心の喚起	(34)	<ul style="list-style-type: none"> ■県民に広く広報することは、とてもいい取組だと思う。この取組について関心を持ったので、これから考えていきたいと思う。 ■もっと積極的に周知を図り、関心を持ってもらうよう工夫する必要があると思う。 ■ラジオやテレビ、街中の施設や商店を活用するなど、県民の目につきやすい、耳に入りやすい方法を工夫して広報に力を入れてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供の手法については、多くの県民に感心を持って頂き情報共有を図るため、ホームページ、ニュースレター、パネル展示等だけでなく、県の広報番組等ラジオやテレビの活用も行っていきたいと考えており、その旨コミュニケーション計画に追記しました。 →資料1-3 (19頁参照) ・計画検討プロセス等で示した各ステップの検討に必要な情報を明確にし、これに基づき多様な調査結果を県民にわかりやすくとりまとめ情報提供してまいります。 				
		10302 情報提供	(77)	<ul style="list-style-type: none"> ■子どもからお年寄りまで誰もが理解しやすいよう、難しい専門用語を使わず、分かりやすく情報提供してほしい。 ■検討ステップごとに、前提条件や県民の意見、検討中の事項、決定された事項等を分かりやすく県民に周知してほしい。 ■情報提供にあたっては、より詳しくたくさん情報を提供してほしい。 ■県民の関心が集まり、理解が進むよう、正確で充分な量の情報をこまめにしっかり提供してほしい。 ■計画検討の早い段階から情報提供をすることは大切だ。 ■委員会の議事録を公表するなど、検討プロセスを十分に情報提供してほしい。 ■新聞や自治会の回覧板などを使って、幅広い県民に情報提供を行ってほしい。 ■オープンハウス等で一人ひとりに情報提供を行う取組みは評価できる。 ■ニュースレターやオープンハウスでは、文字の大きさやカラー表現に配慮し、分かりやすい情報提供を行ってほしい。 ■図や模型を使うなど具体的な情報提供を行ってほしい。 					
		10303 意見把握	(32)	<ul style="list-style-type: none"> ■県の取組みをオープンにし、県民と意見交換しながら計画検討を進めることは、信頼関係づくりにもつながるいい取組みだと思う。 ■県在住の専門家やNPO団体をはじめ、青少年、子育て世代など幅広い年齢・属性の住民、各市町村から意見を聞いてもらいたい。 ■幅広い県民の多様な意見を聴き取れるよう、様々なツール（PI手法）を使って意見を言えるようにしてほしい。 ■アンケートなど間接的な手法だけでなく、直接意見を述べたり話し合いができるような意見把握の場を設置してほしい。 ■ニュースレターの内容が堅いので、もっと柔らかいものに工夫して、多くの県民が関心を持てるようにしてほしい。 ■県民参加がどのような方法でいつ行われるのか明確にほしい。 ■何に対する県民の意見を求めているのかをはっきりさせた上で、意見を募集してほしい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・各段階において、県民の皆様と確認を行いながら、検討を行っていくことが合意形成を図る上で重要と考えており、各ステップに基づき県民の皆様と情報共有を図りながら検討を進めてまいります。 ・県民等の参加方法等を明確化するため、県民や市町村との意見交換、情報共有を図るための会議の設置方法や会議の開催について追記しました。 →追加修正 資料1-3 (20頁参照) 			
		10304 対話	(12)	<ul style="list-style-type: none"> ■立場の異なる意見を持った県民や関係者等との合意形成を図る事が重要だと思う。 ■幅広い県民が直接、話し合いを行う場を設けてほしい。 ■県民とのコミュニケーションには十分な時間や回数をかけて取組んでほしい。 					
		10305 意見への対応	(9)	<ul style="list-style-type: none"> ■県民の意見を「聞きっ放し」になるのが心配。決める前に知らせ、広く意見を求め、十分に意見を反映しながら進めてほしい。 					
		10300 その他	(6)	なし					
		104 検討の体制	(18)	10401 検討の体制			(18)	<ul style="list-style-type: none"> ■公正性の確保のため、第三者や住民がプロセスをきちんとチェックできることが重要だと思う。 ■各委員会の役割や構成メンバーを明確にほしい。 ■検討の場には、鉄道会社その他の交通機関など、民間から専門知識を持ったメンバーを加えてほしい。 ■広く市町村やその市民との協議の上でプロジェクトを進めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画検討は、県民と情報共有を図りつつ、検討プロセスに基づき、プロセス運営委員会の監視、助言の下適切に行ってまいります。 ・委員会の役割や構成メンバーを明確化するための専門分野、委員の選定基準を追記しました。 →追加修正 資料1-3 (14~18頁) ・検討にあたっては、県民と十分な情報共有を行う県民参加型プロセスを導入することとしており、市町村、県民、交通事業者等との幅広い情報共有に努めてまいります。その具体的な内容について追記しました。 →追加修正 資料1-3 (20頁)
		10400 その他		(0)			なし		
		105 意思決定		10501 意思決定			(6)	<ul style="list-style-type: none"> ■県民や委員会から意見を聴くのもいいが、意見がまとまらなかったり、計画倒れにならないか心配。最終的には、行政が主体となって決断してほしい。 	
			(6)	10500 その他			(0)	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・県民の皆様と情報共有を図りながら進める5つのステップに基づく検討結果を踏まえ、最終的に行政の長である県知事において県としての計画案を決定してまいりたいと考えております。

大分類	中分類	小分類	意見数	意見の概要	意見への対応	
2	地域の課題や将来像について(ステップ1,953)	201 地域の活性化 (210)	20101 県土の均衡ある発展	(43)	<ul style="list-style-type: none"> ■長期的に考えて、沖縄の経済や観光の発展、都市構造・土地利用の再編につながると思うので実現してほしい。 ■人口が集中している都市部ではなく、遠隔地の振興や交通の利便性向上に寄与するものにしてほしい。 ■都市部だけ、観光のためだけの鉄道ではなく、人口分散、都市間の交流の活性化が進み、県全体の発展につながるものにしてほしい。 ■利便性や経済性はばかりを追求しないで、自然とのバランスを考えた沖縄らしい計画にしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本県では、県土の均衡ある発展、高齢者を含めた県民及び観光客の移動利便性の向上、中南部都市圏の交通渋滞の緩和、世界水準リゾート地の形成、駐留軍用地跡地の活性化、低炭素社会の実現などを図る観点から、鉄軌道導入に向けた県の計画案検討に向けた取組を進めることとしております。 ・そのため、計画案検討にあたっては、交通計画の観点のみならず、経済・観光・地域振興や駐留軍用地跡地利用の促進等、幅広い視点で検討を行ってまいります。 ・また、計画案検討にあたっては、沿線市長村の役割として、「駅を考慮したまちづくり計画の検討」も併せて行っていくこととしており、市町村と連携しながら、まちづくりの方向性等について検討を行ってまいります。 ・鉄軌道等対策の効果については、対策の必要性や対策案の比較評価等において、メリット、デメリットを含め、県民生活がどうかかわるのか、その影響について県民にわかりやすいようとりまとめ情報提供してまいります
			20102 中南部都市圏の振興	(27)	<ul style="list-style-type: none"> ■中南部に利便性の高い公共交通機関を整備し、地域の活性化につなげたい。 ■南部にこそ鉄軌道の需要があるので、南部地域にも目を向けてほしい。 	
			20103 北部地域の振興	(50)	<ul style="list-style-type: none"> ■北部の人口増加や観光客増加など地域の発展につながるように、北部～中南部のアクセスを改善してほしい。 ■鉄軌道が出来ることで、雇用機会の増加や医師不足の解消など、北部地域の生活水準の向上につながることを期待している。 ■名護までしか通らないと、その先の北部地域の振興につながらず、置き去りにされてしまうのではないかと心配だ。 ■鉄軌道をつくっただけでは北部は発展しないので、併せてまちづくりも行ってほしい。 ■鉄軌道ができると北部が発展する反面、ホテルなどの進出により環境には大きなマイナスになるのではと恐れている。 	
			20104 離島の振興	(8)	<ul style="list-style-type: none"> ■離島の振興にも資するような鉄軌道の計画にしてほしい。 ■離島でも車に頼らないで済む交通手段が必要だと思う。 	
			20105 東海岸地域の振興	(7)	<ul style="list-style-type: none"> ■西海岸側だけでなく、東海岸側の発展も考えて計画してほしい。 	
			20106 駅中心のまちづくり	(13)	<ul style="list-style-type: none"> ■鉄軌道の駅周辺を整備し、駅を中心にしたまちづくりをしてほしい。 ■鉄道をつくるだけでなく、駅周辺の道路や歩道の整備などしっかり行い、快適に利用できるようにしてほしい。 	
			20107 駐留軍用地跡地の利活用	(3)	<ul style="list-style-type: none"> ■米軍基地の跡地を活用することで、駅や周辺の整備に伴う土地取得や騒音などの問題が解決できるし、跡地の活性化にもなるのではないかと。 	
			20108 ライフスタイル	(53)	<ul style="list-style-type: none"> ■公共交通を利用し歩く習慣がつけば、健康増進や長寿につながる。 ■鉄道を利用することで、車の購入・維持費や下宿代などの大きな経済的負担が軽減されるのではないかと。 ■飲酒後の移動手段があれば、心置きなくお酒を楽しむことが出来るようになる。 ■終電に間に合うよう早く家に帰るようになり、夜型社会が変わると良い。 ■子ども達の活動範囲が広がり社会経験もできる。 ■通学範囲が広がって進学できる学校の選択肢が増えたり、移動中の読書習慣などで学力アップにつながることで、子ども達の可能性をのばせる。 ■時間の使い方の変化や公共マナーの向上などにつながり、生活の質や意識が変わる。 	
			20100 その他	(6)	—	
			202 移動の利便性 (972)	20201 移動時間の短縮	(64)	

大分類	中分類	小分類	意見数	意見の概要	意見への対応
		20202 交通渋滞の緩和	(131)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 渋滞緩和への効果が期待できる。 ■ 渋滞が緩和されると自動車での移動時間が読めるのが良い。 ■ 朝の通勤、通学時の渋滞が緩和されればイライラ感や遅刻が減るので良い。 ■ 渋滞が解消されれば経済効果も期待できる。 ■ 道路の新設では渋滞が緩和しないのではないか。公共交通の整備が必要だと思う。 ■ ひどい交通渋滞があると思わなかったり、渋滞解消効果は低いと考えているので、鉄軌道の必要性を感じない。 	<p>・陸上交通の課題、将来あるべき姿の実現に向けた対策については、導入ありきではなく必要性から、検討してまいります。</p> <p>・また、対策については、社会面、経済面、環境面等様々な観点から検討を行うとともに、対策の効果についても、各ステップにおいてメリット、デメリットを含め県民にわかりやすいようとりまとめ情報提供してまいります。</p>
	20203 移動の定時性	(64)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 定時運行できるので、通勤・通学の移動時間が読めることが利点だと思う。 ■ 定時性が確保される様に運行してほしい。 ■ 時間通りに移動ができれば、地方に住む人の利便性が図られ日々の生活の向上につながる。 ■ 定時性が保てればさほど高速である必要はないと思う。 ■ 深夜や早朝にも利用できる公共交通があると便利だ。 		
	20204 移動コストの軽減	(180)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 運賃をできるだけ安く抑えてほしい。 ■ 他の交通機関との比較した上で、運賃によって利用するか否かが変わると思う。 ■ 高齢者、障がい者、通勤者、学生、子どもなどに対する割引運賃やバスとの乗継割引制度などを設けてほしい。 ■ 自動車の維持費やガソリン代、タクシー・バスにかかる費用が減ることを期待している。 		
	20205 自動車に頼らない移動	(292)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自動車に頼らない生活が可能になり、車の数が減って車社会が緩和される。 ■ 公共交通機関の整備の遅れが郊外化の要因だと思うので、中心市街地の活性化やコミュニティの再建につながる。 ■ 自動車を持っていない人にとって便利な移動手段になる。 ■ 高齢化が進む中、自動車を運転できなくなった高齢者の不安を解消し、自由に行動できるための足になる。 ■ 学生や若い人が通勤、通学のために利用でき、親が送迎する必要も無くなるので便利で経済的だと思う。 ■ 鉄軌道は障がい者も利用することができるのが良い。 ■ 自動車を使わなくても通勤、通学ができるので便利になる。 ■ 車を運転できない・しない人でも沖繩を楽しめるようになり、旅行者にとって便利になる。 ■ 過疎地や離島など都市部から離れている所にこそ車に頼らない交通手段が必要ではないか。 ■ 鉄軌道が導入されても、自家用車やレンタカーを使う人は多く、車社会は変わらないと思う。 ■ 鉄軌道ができれば今の不便さが改善され、利便性の向上につながる。 ■ 自動車以外の移動の選択肢が増えて、行動範囲が広がるのが良い。 		
	20206 移動の快適性・安全性	(68)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 車が減り飲酒運転も減るので、交通事故の減少につながる。 ■ 車が減ること交通事故の減少が期待できる。 ■ 高齢者が車を運転しなくて済むようになるので、交通事故防止につながる。 ■ 安全で安心な鉄道ができれば人の流れも変わると思う。 ■ 鉄道事故や人身事故が発生する可能性があるため、安全性を重視してほしい。 ■ 車両、駅や駅周辺の整備は、子どもや子連れ、高齢者、障がい者にとっても使いやすい様にバリアフリーにしてほしい。 ■ 高齢者、ベビーカーや車椅子利用者にとって快適で使いやすい車両やシステムを導入してほしい。 		
	20207 交通手段同士の連携	(173)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 既存交通との連携を考え、公共交通ネットワークを構築してほしい。 ■ 南北方向は鉄軌道、東西方向はバス路線といった分担をし、南北だけでなく東西の流れも多く取り入れてほしい。 ■ 鉄軌道ができることでモノレールがより便利になる様に、延伸を含めた検討を行い連携を考えてほしい。 ■ 駅とのアクセス交通手段がなければ利用しないので、バスなどとの連携を考えてほしい。 		

大分類	中分類	小分類	意見数	意見の概要	意見への対応		
				<p>■現況のバスの使い勝手が良くなる様に、路線の再編と運行時間や乗り換えがわかりやすいシステムづくりをしてほしい。</p> <p>■駅とのアクセス交通手段はタクシーではなくバスを前提にしてほしい。</p> <p>■駅に家用車でアクセスすることを考えると、駅周辺に低料金の駐車場を整備することが必須ではないか。</p> <p>■車の乗り入れ規制等と組み合わせないと鉄軌道導入の効果が発揮できないのではないか。</p> <p>■バス利用者が少なくなり、運行本数が減らされてしまわないかと心配だ。バスやタクシーと共存できる様にしてほしい。</p> <p>■自転車を車両に乗せることができたり、駅に駐輪場やレンタサイクルを整備することで、自転車との連携もできる様にしてほしい。</p> <p>■南北を縦断する高速の鉄軌道でなくても、LRTの導入やバスの充実などの手段によって利便性の高い交通網が整備できるのではないか。</p>			
		20200	その他	(0)	—		
	203	産業・雇用 (162)	20301	観光	(110)	<p>■自動車運転しない観光客も呼び込むことができると、観光客の増加につながる。</p> <p>■利便性が向上し、短時間で北部や南部など遠方の観光地まで行けるため、観光客の増加が期待できる。</p> <p>■将来を展望すると、観光面で絶大な効果が期待でき、経済の発展も期待できる。</p> <p>■観光客が電車で移動しながら、やんばるの自然のすばらしさや西海岸の海・景観、南の島の風景を楽しめるようになる。</p> <p>■観光の側面からだけでなく、通勤・通学、買い物、教育、医療など住民の利便性の向上も考えてほしい。</p> <p>■観光地を結び、各地域ごとに駅を作るなどの工夫をし、観光の質の向上を図ってほしい。</p> <p>■2020年の東京オリンピック・パラリンピックに合わせて、沖縄県も観光振興を図れるとよい。</p> <p>■広く世界に沖縄の良さを知ってほしい。</p> <p>■観光開発を考える上で、観光客が何を求めているのか、綿密に調査する必要がある。</p> <p>■他県と比較して鉄道がないことも、観光のセールスポイントではないか。</p>	<p>・陸上交通の課題、将来あるべき姿の実現に向けた対策については、導入ありきではなく必要性から、検討してまいります。</p> <p>・また、対策については、社会面、経済面、環境面等様々な観点から検討を行うとともに、対策の効果についても、各ステップにおいてメリット、デメリットを含め県民にわかりやすいようとりまとめ情報提供してまいります。</p> <p>・次のSTEP2において、プロセスに基づき導入ありきではなく、対策の必要性から検討してまいります。</p>
			20302	商業	(5)	<p>■買い物、レジャー等に利用したい。</p> <p>■駅周辺は、駐車場や駐輪場、ショッピングセンターなどの設備を充実させてほしい。</p> <p>■地元の商店街や地域コミュニティの衰退、買い物難民などの問題を解決してほしい。</p>	
			20303	雇用	(40)	<p>■建設事業や駅での商業・サービス業に係る雇用が促進されることが期待できる。</p> <p>■鉄軌道ができると、バスやタクシーの仕事が減ってしまうのではないか。</p> <p>■鉄軌道ができれば車出勤などが減少し、自動車販売業者や自動車学校の運営へ影響が出るのではないか。</p> <p>■北部と南部の移動が短時間で容易になり、通勤圏の拡大や企業誘致などによる雇用機会の増加が期待できる。</p> <p>■北部の過疎化を防ぐために、北部にも雇用創出が必要である。</p> <p>■鉄軌道の完成後も、駅周辺に雇用が生まれ、鉄道自体が雇用につながるようしてほしい。</p> <p>■公共交通が不十分であるために子どもの送迎に手間がかかり、女性の就労が制限されているのではないか。</p>	
			20304	新たな産業	(6)	■鉄軌道での貨物運搬も必要ではないか。	
			20300	その他	(1)	—	
	204	環境 (115)	20401	低炭素社会の実現	(54)	<p>■自動車利用が減れば、排気ガスやCO2の排出量が削減できるのでは。大気汚染や地球温暖化対策効果が期待できる。</p> <p>■自動車交通は減らず、環境への負荷も減らないのではないか。電気自動車の普及や排気ガス規制などの施策が必要ではないか。</p> <p>■鉄道稼働による電力消費と、自動車稼働率の上昇で、エネルギー問題と温暖化問題が深刻になるのではないか。</p>	

大分類	中分類	小分類	意見数	意見の概要	意見への対応	
		20402 緑地・山地など自然環境の保全	(54)	<ul style="list-style-type: none"> ■沖縄の貴重な自然を壊すことなく、沖縄の景観を大切に、整備を行ってほしい。 ■きちんとした環境アセスメントを実施し、環境に配慮してほしい。 ■沖縄の独特の自然とバランスの取れた整備を行ってほしい。 ■赤土対策はしっかり行ってほしい。 		
		20403 騒音	(4)	■騒音問題が起こるのではないかと心配。防音対策や事前の情報提供など配慮してほしい。		
		20400 その他	(3)	—		
	205 景観 (24)	20501 景観の保全	(24)	<ul style="list-style-type: none"> ■スピード化だけでなく、沖縄の自然が満喫でき、周囲の景色が楽しめる鉄軌道となってほしい。 ■景観の悪化が心配。景観の保全には最大限配慮してほしい。 		
		20500 その他	(0)	—		
	206 災害対策 (20)	20601 台風に強い移動	(6)	■台風に強い車両システムや交通網にしてほしい。		
		20602 地震対策	(6)	■耐震化や災害に備えた訓練を十分に行い、地震に強い交通網にしてほしい。		
		20603 津波対策	(6)	■津波災害を考慮し、対策を十分に行い、津波に強い交通網にしてほしい。		
		20600 その他	(2)	—		
	207 公平性 (21)	20701 本土との格差是正	(21)	■沖縄県にも他都道府県同様に鉄軌道があって当然だと思う。		
		20700 その他	(0)	—		
	208 財政負担 (122)	20801 事業費	(41)	■出来るだけ事業費を抑えてほしい。		
		20802 事業の採算性	(81)	<ul style="list-style-type: none"> ■採算性の取れる計画にしてほしい。 ■単に鉄軌道だけの収益だけでなく、道路改修費用の削減や地域振興など、社会全体に経済的なメリットがあるかどうか重要だと思う。 		
		20800 その他	(0)	—		
	209 財源の確保 (36)	20901 事業費の財源	(36)	<ul style="list-style-type: none"> ■県財政に負担にならないか、税負担が増えないか心配だ。 ■国の予算で導入してほしい。 		
		20900 その他	(0)	—		
	210 事業期間 (271)	21001 事業期間	(21)	<ul style="list-style-type: none"> ■開業までに時間をかけないでほしい。 ■長期間かかっても実現に向けて進めてほしい。 ■事業期間が長くなり、その間に社会や経済の情勢が変化して計画が進まなくなることが心配。 ■平成27年度までの検討では時間が足りないのではないか。 ■検討から開業までどれくらいの期間がかかるのか、分かりにくい。 		
			21002 土地取得にかかる時間	(26)		■土地取得に時間がかかり、事業期間が長くなるのが心配。
			21000 その他	(224)		—
		3 計画内容に関する意見 (ステップ3以降) (892)	301 起終点に関する意見	(182)		<ul style="list-style-type: none"> ■那覇一名護間に関する意見 ■南北への延伸に関する意見 ■本部や国頭など名護より先への延伸に関する意見 ■豊見城や糸満、与那原など那覇より先への延伸に関する意見
	302 ルートに関する意見	(255)	<ul style="list-style-type: none"> ■現在交通の不便な地域や、観光地をつなぐなど、本島全体をまわるルートに関する意見 ■本島の東側や南部を通るルートに関する意見 ■本島の西側を通るルートに関する意見 ■東西を横断するルートに関する意見 ■複数のルートに関する意見 ■海岸線のルートに関する意見 ■海岸線以外のルートに関する意見 ■58号線、329号線や沖縄自動車道の活用に関する意見 			

大分類	中分類	小分類	意見数	意見の概要	意見への対応			
	303	導入するシステムに関する意見	(265)	■路面電車（LRT）に関する意見				
				■バス・BRTIに関する意見				
				■モノレールに関する意見				
				■鉄道・リニア・新幹線などに関する意見				
				■高速船に関する意見				
				■道路整備に関する意見				
				■現状のまま新たな整備を行わないとする意見				
				■その他（ロープウェイなど）の意見				
				304		駅の位置に関する意見	(73)	■各区、市、町、村内への駅設置に関する意見
								■中心市街地や病院、大学などの公共施設へのアクセスが便利な位置への駅設置に関する意見
305	事業主体に関する意見	(18)	■事業主体はどのようになるのか？県だけでなく国や民間の力を活用して進めてほしい。					
			■県内の企業が参入出来るようにしてほしい。					
			■県外から企業を誘致してほしい。					
306	段階的な整備に関する意見	(3)	■完成した部分から随時運行を開始してほしい。					
307	導入空間・用地・構造	(40)	■既存の道路の活用					
			■新たな用地の取得					
			■高架					
308	関連する整備に関する意見	(20)	■地下鉄					
			■市街地の整備や活性化を同時にすすめてほしい。					
300	その他	(36)	—					
4	その他 (312)	401	その他（鉄軌道事業以外に関する行政への要望・提案）	(5)	■空港を拡張・新設してほしい。 ■国際交流を推進してほしい。			
		402	その他（質問）	(8)	■用語が分からない。 ■鉄軌道計画は既に進んでいるの？			
		403	その他（賛否のみの意見）	(189)	—			
		400	その他	(110)	—			
					・各ステップの検討内容及び進捗状況について、県民にわかりやすいようにとりまとめ情報提供してまいります。			